

「和装（きもの）文化」ユネスコ無形文化遺産登録推進に向けた 有識者検討会議 概要

1 目的

「和装（きもの）文化」のユネスコ無形文化遺産登録に向けては、登録提案書の基礎となる定義案の策定をはじめ、国民全体を担い手として、保護・継承に取り組むことを宣言する必要がある。

一方、「和装（きもの）文化」は、国民の生活の中にある文化であるものの、取り上げる範囲は漠然としている。

このため、「和装（きもの）文化」に関する専門的な知識・技術等を有する有識者に助言をいただき、実務者協議会とともに、今後の取組を検討する場として、有識者検討会議（以下、「検討会議」という。）を開催する。

2 開催日

第1回 平成28年9月13日（火）10時30分～12時 新・都ホテル

第2回 平成28年12月20日（火）14時45分～16時15分
京都タワーホテル

第3回 平成29年3月13日（月）13時30分～15時 新・都ホテル

3 有識者検討会議の構成

（1）学識経験者（五十音順）

市田 ひろみ（服飾評論家、日本和装師会会長）

柿野 欽吾（日本きもの学会副会長、学校法人京都産業大学理事長）

河上 繁樹（学校法人関西学院大学文学部教授）

近藤 尚子（学校法人文化学園大学服装学部教授・和装文化研究所所長）

横山 俊夫（公立大学法人静岡文化芸術大学 学長）

（2）和装業界関係者

池田 佳隆（京都和装産業振興財団理事長、京友禅協同組合連合会理事長）

渡邊 隆夫（京都和装産業振興財団副理事長、西陣織工業組合理事長）

野瀬 兼治郎（京都和装産業振興財団副理事長、京都織物卸商業組合理事長）

川中 隆（京都和装産業振興財団副理事長、西陣織物産地問屋協同組合理事長）

田村 輝男（京都和装産業振興財団副理事長、京染卸商業組合理事長）

（3）オブザーバー

京都府、京都市、京都商工会議所

（4）事務局

公益財団法人京都和装産業振興財団